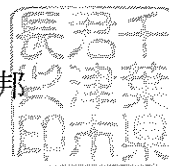


20 君建政第 357 号
平成20年10月28日

国土交通省道路局長 様

君津市長 鈴木 洋 邦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記について、別紙のとおり回答いたします。

問合せ先

建設部 建設政策課

担当：伊藤

電話：0439-56-1460

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県君津市

- ①君津市内 30 分構想に係る道路整備
- ②君津 P A スマート I C の大型フル対応整備
- ③地方においては、幹線道路等主要道路の整備
- ④地域生活道路の整備
- ⑤市街地と集落を連結する道路整備
を重点的に国の補助を利用し整備出来ることを望む。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

千葉県君津市

○現状 本市の道路体系は、国道4路線（16号、127号、410号、465号）県道17路線に市道が連結して道路網の骨格をなしてきたが、東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道の一部開通、館山自動車道の全線開通により広域的な道路ネットワークが構築されつつある。	○課題 国道と県道、市道の連結を図り、産業と生活を支える重要な手段として、広域幹線道路とあわせ、地域づくりや定住・交流を進めるための道路ネットワークの整備が必要である。 また、館山自動車道君津PAスマートICの大型降る対応の整備により地域の活性化、及び観光客の増を図る必要がある。 これからの道路づくりにあっては安全性や機能性に加え、やさしさ、ゆとり、美しさなどを兼ね備えた道路づくりを進めていく必要がある。
---	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

千葉県君津市

安全性や機能性に加え、やさしさ、ゆとりなどに配慮した国道、県道等の広域幹線道路や市道の整備を進める。特に、市道については、市の中心部までの到達時間を早めるような道路網の整備を図るとともに、市内幹線道路と連結する生活道路の整備を進める。また、バリアフリーを考慮し、だれもが安心・安全に利用できる快適な歩行空間の整備に努める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

千葉県君津市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ライフラインの確立	国道410号（山滝野地先）、465号（清和地先）の整備、及び市道との接続道路整備	市内のどこからでも市の中心部に30分で到達できる道路網整備は、市民にとりまして非常に重要なライフラインであり、市の中心部へ早く到達できる。	
・高速道路の有効利用	君津PAスマートICの大型フル対応整備	地域の活性化及び観光客の増。	
・地域活力の向上	市道(仮称)外箕輪・貞元線道路新設改良	河川による分断された市街地と市街地を連結することにより、定住人口の促進及び生活環境の改善。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	市道(仮称)八重原線道路新設改良	横断的道路整備により縦軸へのアクセス道路として、災害、緊急時における効果及び交通渋滞の緩和。	
・少子・高齢社会に対応した子育て	市道北子安・貞元線歩道整備	少子・高齢化社会における安全・安心にできる歩行空間の整備により、	

て環境、バリア フリー社会の形 成		生活環境を確保する。	
-------------------------	--	------------	--